

第3回 境川かわまちづくり懇談会議事録（概要）

- 1 開催日時 令和4年3月29日（火） 午後1時30分～午後3時45分
- 2 開催場所 オンライン開催
- 3 出席者

（学識者）

法政大学 陣内 秀信 特任教授

早稲田大学 創造理工学部 社会環境工学科 佐々木 葉 教授

（沿川自治会）代表者6名

堀江三丁目自治会、猫実三丁目自治会、猫実四丁目自治会

入船中央エステート自治会、潮音の街自治会、タイムレスタウン新浦安自治会

（関係団体）代表者9名

境川であそぼう実行委員会、浦安水辺の会、浦安市カヌー協会、ふるさと浦安かっぱ村
うらやす景観まちづくりフォーラム、みどりのネットワーク

一般社団法人浦安観光コンベンション協会、浦安商工会議所

公益社団法人浦安青年会議所

（河川管理者）2名

千葉県葛南土木事務所調整課 芦村課長、永井主査（随行）

（事務局）

道路整備課 須賀課長、西村課長補佐、泉澤河川海岸係長、田中工務係長
竹内主任主事、岩楯主任主事、河本主任主事

商工観光課 米川主任主事

郷土博物館 島村副主幹

（事務局補助）

公益財団法人リバーフロント研究所 土屋、八町、阿部、利満、坂本
株式会社建設技術研究所 岡田、植村、山田

4 議 題

- (1) 前回までの振り返り
- (2) 意見交換 「境川での様々な活動」について
- (3) 意見交換 「市役所周辺エリア（D1-1 ゾーン）の整備」について
- (4) その他

5 会議経過

- (1) 前回までの振り返り

第1回及び第2回懇談会の振り返りとして、まち歩き状況、主な意見、関係団体の活動について説明を行った。

- (2) 意見交換 「境川での様々な活動」について

関係団体が境川で行っている様々な活動を踏まえ、さらなる活動イメージについて意見交換を行った。

主な意見

やりたいこと、提案に関する意見

- ・ 境川でこいのぼりを泳がせており、Eボートに乗って見学してもらっている。その付近で安全に乗降できるようになると良い。
- ・ イベントを行っても子どもの参加が少ない。子どもが自由に水上で遊べる環境づくりを進めてほしい。
- ・ 浦安の子どもたちの遊びがゲームじゃなくて川遊びという妄想が、実現してほしいと思う。
- ・ 川に降りる階段に鍵がかかっているが、近隣の住民としては、日常的にもっと川に触れ合いたい。
- ・ 川だけで考えると幅が狭くアプローチが難しい。干潟という環境を作るなど、緩やかに水に触れられるところを作るのが良い。三方海に囲まれているので、アプローチがうまくできるところを整備し、それをモデルとする。
- ・ 境川に貝殻を積んであるところが何箇所かある。川と陸とをうまく繋ぐスポットを皆で検討しながら議論が進めば、色々なことが盛り上がると思う。
- ・ 点としての景観を線から面につなげるには花や緑は重要な役割を果たすが、浦安らしさはそれプラス水辺でつなげる。境川は、中心となる存在である。
- ・ D1ゾーンやA・B・Cゾーンは、イベント時は人が活動しているが、日常的に散策している人は見かけない。緑が不足していること、個人的な感覚だが煉瓦の擁壁に違和感があるのではないか。
- ・ 境川に表を向けるような沿道を含めた繋がりや景観的なルールなどを作りたい。沿道の住民の合意形成が必要である。
- ・ D2ゾーンは広いので、緑道に一時的なお店やカフェがあるなど、人がくつろげる空間形成ができるルールと誘致が必要と思う。
- ・ Bゾーンの護岸の柵に花のプランターを置いたり、所々に昔の境川沿いの風景の写真を置くことで、市民が散策することになる。これが川をきれいにする、川の利用を増やすために一番大事なことだと思う。
- ・ パドルレースのようなものを境川で行えば、子どもや孫たちが出場すると親や祖父母も来て、活性化にも繋がるのではないかと思う。
- ・ 本物の川で泳げるエリアがある、潮干狩りができるなど、限られたエリアでも「都心近く

<p>のこんなところでこんなことができる」ということがあるとよいと思う。</p>
<p>施設、管理・許可、安全安心に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 境川全域にわたって安全に水上に降りられる設備はない。安心・安全な設備のもとで活動ができれば、いつでも誰でも利用できることに繋がる。 ・ 水辺に降りる箇所は鍵がかかっている。市の商工観光課、県の葛南土木事務所に許可をもらって活動している。多くの書類の提出が必要で、あわせて良い方法がないかと思う。 ・ 管理責任があるのかもしれないが、使う人の良識、子どもに関しては親が教育するなど、もっと住民に任せて使えるようにしたらよいのではないか。 ・ Bゾーンは歩けるようになったが、橋のところに階段があり、年寄りが散歩するには苦しい状態である。 ・ Bゾーンは安全に関しては浮き輪等がない。落ちてしまったら助ける人が降りていけない状態である。 ・ 元町は、水質や安全性に課題があり、護岸が壁になっているので落ちたら上がることが出来ない。境川で遊ぶということはよいことだが、安全が最優先されると思う。

(3) 意見交換 「市役所周辺エリア (D1-1ゾーン) の整備」について

市で検討を進めている境川公園及び管理用通路の整備について、整備イメージ案を基に意見交換を行った。

主な意見

<p>やりたいこと、提案に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東水門のあたりはゴミが多いので、ゴミが拾いやすい、ゴミを拾うための重機が入りやすいなどの管理面でもアクセスしやすくなるとよいと思う。 ・ 自転車に乗られる方、サイクリングされる方がいるので、自転車が境川を安全に周遊できるようにしても面白いと思う。 ・ 2階建てのオープンテラスができたらよいと思った。市役所の前にある親水施設に平らな屋根をかけ、テーブル、椅子、パラソルを置いて、そこでお茶を飲んだり、下では水辺に触れられ、SUPやカヌー、Eボートなどが乗れる。東水門の周辺エリアは割と広い場所なのでそのようなものがあると水に映えてきれいだと思う。 ・ 排水機場は水のポンプアップをしているのだから、しおかぜ緑道のように川の水が直接公園中を流れていくようにすると、そこで子どもたちも安全に水に触れられる。 ・ 昔は東水門からは海で干潟的環境があった。原風景として排水機場といくつかのところで実験的に干潟環境を作り、それらを結びつけることによって船を着ける場所も作れる。原風景のイメージを持ちながら、現代的な遊びもできるという作り方が重要ではないかと思う。 ・ 商業施設も同じように管理用通路と繋ぐというような仕様にできるとよいと思う。 ・ 対岸からの見栄えからすると、商業施設は裏的な要素になっている。商業施設もかわ側が顔になる設えができるガイドライン的なものを作り、商業施設に来た人も回遊できると、賑わいができてよいと思う。
<p>整備イメージ案についての意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ウッドデッキはきれいだが、管理費がかかっては大変ではないか。 ・ 整備されるとイベントもやりやすくなってよいと思う。 ・ Cゾーンあたりで夜にランニングや歩いている方がいるが、延伸することで市役所周辺がきれいに整備されると、そのような人たちや境川にとってもすごくよいと思う。 ・ 今の時期は、ちょうど桜が綺麗に咲いているので、散策しやすく整備されるのはすごくよ

いと思う。

- ・ D1-1ゾーンが寂しい状態とっていたので、整備されて市民方々がもっと川に親しんでもらえる場所になることはすごくよいと思う。
- ・ 境川公園の整備方針案は基本的にはよいと思う。芝マウンドとかウッドデッキで管理用道路と結ぶなどは賛成である。
- ・ 護岸のパラペットがコンクリート剥き出しと言うのは、景観的にはかなり抵抗がある。壁面緑化とか、川側については、自然石の使用を考えてはどうか。
- ・ 個人的な意見であるが、レンガには、違和感がある。壁面緑化とか自然石、それから木を使うとかをもう少し考えられた方がいいのではないかな。
- ・ 境川公園の整備方針案は公園と管理用通路のレベル的な部分がうまく解消されており、既存の松や桜を残しながら少し密になり過ぎた植栽も見通しが良くなるようにしており、よくできていると思う。
- ・ レンガ素材はひっかかる。
- ・ 公園が広い感じがする。水面の埋め立てが必要になるのではないかと気になった。
- ・ 境川公園のD1-1ゾーン全体の位置づけがあった上で、このような計画になったという説明があるとよい。

水質と過去の風景に関する意見（議題（2）（3）で出た意見をまとめている）

水質に関する意見

- ・ 境川には水門が2つあり、定期的にかけていることとなっているが、本当に水が流れているのかを検証すべき。
- ・ 利活用には、水質を含めた環境づくりが本当に大事なことだと思う。
- ・ 干潟ができればそこで生物が水質を浄化してくれる。
- ・ 水を綺麗にしないと楽しめないのではないかとやっているが、水は上流から流れている。元町地域の川もきれいにすることを考えてほしい。

過去の風景

- ・ 浦安は干潟がなだらかに続いて、陸と海が連続した場所だった。
- ・ 昔は半農半漁のまちというフレーズが必ずついていた。
- ・ Aゾーンは川幅が狭いが、昔は広がった。遊歩道等をつくる関係で狭くなっている。

質疑応答

Q. 利用できない親水施設は、税金で作っているものであり、管理者である千葉県の方がなぜこうなったかを明確にし、県としてどうしていくかを説明すべき。
A. 経緯をお知らせできなかったことは申し訳ないと思う。懇談会がそのような場になればと思う。今後、改善ができればと県も思っている。
Q. 公園を整備すると川を眺めるにはよいと思うが、川そのものの利用には全然ずれているのではないかと思う。
A. 川沿いの空間を少し豊かにすることで、この目の前の広い水面にもっと人々が向かい、さらに市役所側の親水施設の利活用なども将来的に活性化させていくという、少し長い構想の中の第一歩であり、できることからスタートしているので、ご理解いただきたい。
Q. D1-1ゾーンは今川橋までの間にプレジャーボートがたくさん係留されている。このまま将来的に置いておくのか。
A. プレジャーボートの話しも水面をどう使っていくかという時に整理が必要なので、後日きちんと議論したいと思う。
Q. 川をきれいにする水門の開閉については、陣内先生も非常に重要、自治会からもAゾーンの方を何とかしてほしいという話もある。今回の議題と並行して出来る話しだと思いがいかか。
A. これから懇談会に限らず、ワーキンググループ等でいろんな活動に分かれたり、いろんな課題に分かれるということも視野に入っている。そのような形で今後やっていきたいと思う。

(4) その他

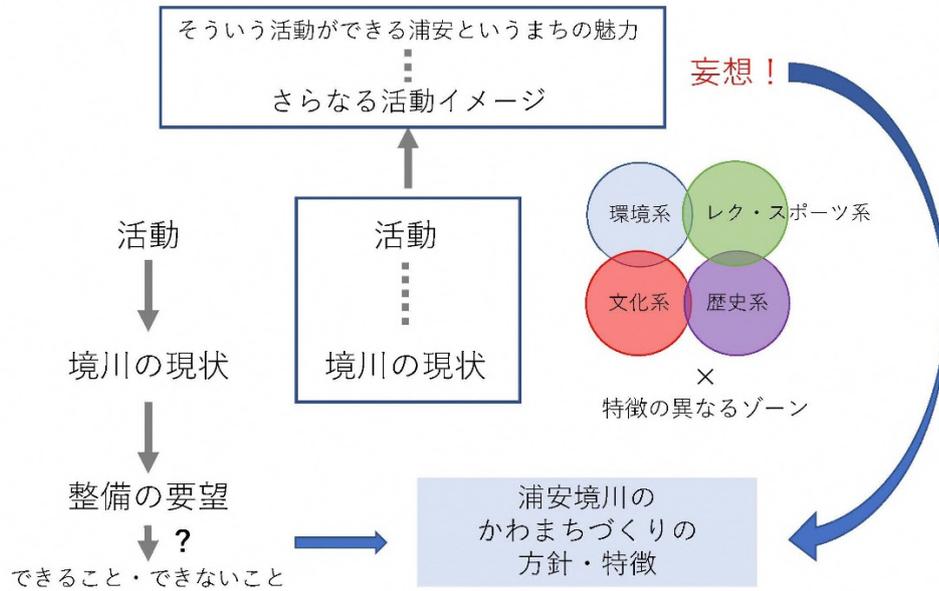
- ・ 令和4年4月23日（土）午前10時から午後4時、市役所前の浦安公園の入り口付近にテントを設置し、オープンハウスを実施する。荒天の場合は翌日順延する。
- ・ 今後、市のホームページ及び広報うらやす4月15日号で周知いたしたく調整をしている。
- ・ オープンハウスではパネル展示、アンケートを行うので、皆様の参加をお待ちしている。
- ・ 今回の開催概要や議事録は、後日、境川かわまちづくりの市公式ホームページにて掲載予定である。
- ・ 新年度になり代表者変更などがある自治会、関係団体におかれては、会の中で当件について引継ぎをお願いしたい。
- ・ 令和4年度の境川かわまちづくりの進め方については、これまでの全3回の懇談会での意見を踏まえ、事務局で検討し、後日、改めてメール等でお知らせする。

第3回境川かわまちづくり懇談会



令和4年3月29日（火）

第3回かわまちづくり懇談会



意見交換時のスライド



参加者 集合写真①



参加者 集合写真②